

Kinan

確かな未来へ、安心のネットワーク

JA紀南
JAふれあい広報誌



1
2024
No.249

Kinan
2024
No.249
1



表紙の人 森山 咲花さん

食と農の祭典

第1回 JAマルシェ

《主催》 JA紀南

日時：令和6年1月14日(日)
AM10:00～PM3:00
場所：和歌山県立情報交流センター Big・U
田辺市新庄町 3353-9

イベントも盛りだくさん!
食・農・JAとふれあおう

<p>食</p> <p>焼き芋販売 神鳥屋「梅やきとり」 キッチンカー 飲食コーナー</p>	<p>体験</p> <p>梅干しパック詰め体験 ソーフラワー作り サブン教授の防災教室 (イスで地震体験ができるよ)</p>
<p>農</p> <p>農産物即売会 農産物の基礎講座 ・失敗しない野菜の作り方 ・土づくり、肥料のやり方</p>	<p>催し</p> <p>水中コイン落としゲーム 食農クイズ大会 JAお金の勉強会 お楽しみ抽選会 (注2)</p>

それいけ! アンパンマン ショー

時間
1回目 11:00～
2回目 14:00～

場所
多目的ホール

観覧無料 (注1)

©やなせたかし/フレール館・TMS・NTV

よしもとお笑いライブ

スマイル	バタハリ
出演 スマイル、バタハリ 他1組予定	時間 12:15～ 13:15
場所 多目的ホール	観覧無料 (注1)

(注1) それいけ! アンパンマンショー (2回) とよしもとお笑いライブの観覧には整理券が必要です。それぞれ開催の1時間前に、総合受付にてお配りします。(各定員 300人)
(注2) お楽しみ抽選会は、お一人様1回限りさせていただきます。

お問い合わせは、JA紀南ふれあい課 (☎0739-25-5806) まで

新春特別企画「紀南のリードオフマン」・・・4
 新年の抱負・辰年生まれ大集合・・・8
 将棋・杉本八段に梅干しとミカン贈呈・・・10
 4年ぶりに田辺農林水産業まつり・・・22
 年末年始の予定・・・23



表紙の人

もりやま さいか 森山 咲花さん (20歳) 白浜町

大学2回生、今もダンスに夢中

明けましておめでとうございます。大学2回生で近代文学などを学んでいます。「国語の先生」が今のところの憧れであります。将来のことについては今後じっくり考えていければと思います。

今の楽しみは、大学で所属しているダンスサークルの活動で、ダンスのジャンルは「Waack (ワック)」というものです。ダンスを始めたのは4歳の頃で、踊る楽しさはもちろん、見ている側もワクワクするところがダンスの魅力だと思います。また料理も楽しみのひとつになってきており、今は「チキン南蛮」を研究中です。

好きな芸能人は、俳優の神木隆之介さん。たくさん話を聞いてくれる、聞き上手な人がタイプです。

新年の抱負は、より計画的な行動に努めたいです。

撮影日記

深紅の着物が神社の厳かな雰囲気と相まって魅力が一層引き立った森山さんに新年号を飾ってもらいました。撮影は10月1日、白浜町十九淵の日神社で行いました。

おしえてみかっぴ



質問

JA紀南の木熟みかんってどういうものなの？

※質問の答えはほかのページに載っています



2024 (令和6年) 新年のごあいさつ



代表理事 組合長 山本 治夫

コロナや侵攻・戦争の状況下で 日本の農業も大きな転換期に

2023年を振り返れば

明けましておめでとうございます。 世界は悪の巣窟(そうくつ)か? 今なお続くロシアのウクライナ侵攻に加えて、新たにイスラエルのガザ地区侵攻と、難しいことは分かりませんが、まるでスポーツのように、ルールにのっとって侵攻・戦争をすれば、人を殺すことも正当であるかのような情報があふれています。 国際法など知りませんが、ど

のような状況状態、また戦争であつても、人を殺すことの正当性はあるのでしょうか。人を殺すことの正当性を主張する言い訳は子どもの喧嘩よりレベルが低いと感じるのは私だけでしょうか。

平和な日本で生まれ育った私からすれば、考えられない事態が続いています。

とはいえ、戦前の日本も同じような状況のようであつたこと。戦後我々の先輩たちが守り育てた平和主義は、世界的に見ても稀有(けう)な考え方です。ただひたすら日本に生まれ育った幸運を感謝する次第です。

そういった背景がある中、日本の農業も大きな転換期を迎えています。世界が平穏無事な時期にはどんどん輸入を奨励するなど、必要な食料は海外から調達したらいんだ、というようなことを平気という人もあつて、唖然としたものです。 遅まきながらも、今のウクラ

イナ、イスラエルのこの事態に至って日本国内での食料増産は必須との論調から、やっとこさ、国の政策も食料国内増産にかじを切ろうとしています。

梅は3年続きの豊作傾向

令和5年産の梅は3年続きの豊作傾向であつたことから、単価的には前年ほどにはいきませんでした。青梅はまあまあ何とかしのげた価格であつたのか、など安どしているところ。しかし、梅干しについては、5類移行とはいえ、続くコロナ禍や豊作傾向の作柄から、5年産の梅干しは厳しい状況が続いています。ただ、夏の猛暑下での梅干しの消費増は、コロナ前までの状況とはいきませんが若干の救いになったのかなと思つて

いるところ。ただ、それにとどまらず梅干し消費拡大の施策を生産者ともども取り組んでいかねばと考えています。 それからもう一つの主力産物

コロナ脱却、経済上向きへ

そんな中、国内を見れば、ここ何年かコロナ、コロナと大騒ぎをし、そして私も含め多くの人々がコロナに感染しました。

感覚と感じています。 それだけ直売所は楽しみの山盛りです。また同じように訪れているお客さんを見れば日本が豊かになった証かなと思つた次第です。

そういう意味で、JA紀南の紀菜柑や生産者の直売施設に来ていただける人からすれば、単に食物にとどまらない楽しさを感じていただいているのではと密かによろこんでいます。 県1JA合併も含め課題山積ですが、本年もどうぞよろしくお願ひします。

農協も含め、日本の経済状況は厳しいものでしたが、2023年に入り5類に分類変更になつたこともあり、段々と以前の活動形態に戻ってきたことから、日本の経済も上向きのように感じます。

5類となつたことで、何となく大したことがないかのイメージでありますが、やはりまだコロナは感染状況にあり、感染者の話や聞くと結構大変だつたこと、やはり引き続き気を引き締めていかねばと思つたところです。 そんな中、4年ぶりにJA紀

楽しみ山盛りの直売所

JA紀南には、紀菜柑をはじめいくつかの農産物の直売所があり、またAコープ内には生産者コーナーがあります。私はJA紀南の直売所や生産者コーナーは、どうしてもJAの役員として、どの程度売れているか、人気がどのほどと、売れる側の目線で見てしまっています。

私は、時間があるとき、地区外の、場合によっては県外のJA直売所や「道の駅」によく寄ります。その時は、売れる側ではなく、単に来店者という感覚からか、わくわく感や驚き感、買う側の楽しみでいっぱい。 この感覚はスーパーの食品コーナーでは味わえません。私が男だからだろうかと思ひながら、彼の地の農産物を見るのは単に食べ物としてみるのではなく、その土地土地の大袈裟に言えば文化そのものを実感します。スーパーで晩御飯のおかずを探している感覚とは別世界の

J Aとタッグで元気な農業づくりにまい進！

紀南のリードオフマン

阪神タイガースのアレ（A.R.E）と38年ぶり日本一が話題をかつさらった2023年。リードオフマンの活躍が際立ったが、紀南産地を野球に例えてみても、それぞれの品目ごとに生産・販売を引っ張り、4番大砲の「梅」を支えるリードオフマン的存在の生産者が必ずいる。異常気象や生産資材の高騰、消費者志向の多様化などあらゆる変化にも臆すことなくJ Aとタッグを組んで立ち向かい、「元気な地域農業づくり」を目指してまい進する紀南のリードオフマン5人に迫った。

2024
新春
特別企画

糖度 14%以上のブランドミカン 雲の上の存在から始め4ト出荷

●木熟201
前田 泰輔さん(51)
上富田町岡



マルチ栽培と摘果で201基準のクリアを目指す

前田泰輔さんは、上富田町岡の葛原で代々続いてきた「ミカン農家」だ。とりわけ木熟みかん生産への思いは強く、J A紀南の温州ミカンで最上位ランクである「木熟201グループ」に入社して、地域のミカン生産をけん引する。木熟201

とはひたすら努力のみだ」と前田さんは言い、そのプロセスにおいてJ Aの営農指導員の存在を省くことはできないと感じている。常に情報をアップデートし、園地に合った栽培方法のアドバイスをくれる営農指導員は、前田さんにとって「心強く」映っている。木熟栽培では、摘果、剪定、肥培管理の基本を徹底し、木にストレスをかけて売れ筋のMSサイズの果実に仕上げていく。マルチは適期を逃さず敷き、敷いた後も常に畑に気を配り、摘果は段階的に3回に分けて行っている。そして「どう思う」と必ず確認する。「食味に太鼓判を押せる」という意味で、温州ミカンの「天」や木熟天、木熟201に対する市場の期待は相変わらず高く、J A紀南としても安定供給が欠かせない。201出荷者も近年若い生産者が増え27人となり、令和4年産では過去最高となる23・7トの出荷量があった。

「201という頂点を目指して頑張れば、当然販売単価が上がる」とともに、生産者の自信にもつながるだろう」と前田さんは考えている。現在上富田地区の生産販売委員長を務めており、自ら挑戦した高品質ミカン作りの経験をもつて、生産者のグループ参加を呼び掛ける。

評価は共選出荷でトップクラス

手塩にかけて分だけ見える成果

●トルコギキョウ

楠本 淳二さん(64)
白浜町才野



市場での有利販売をめざし平成20年に結成したJ A紀南花き部会の「トルコギキョウ分科会」発起人のひとり、初代会長も務めた楠本淳二さん。分科会長として長

らく組織をけん引してきたが、令和2年の10月、後輩に船頭役を託した。「とにかく皆で協力し、産地として高め合っていくことが大切。会長として多様な考えをまとめあげるの大変だと思うが頑張っしてほしい」とエールを贈る。トルコ分科会は結成後、販売体制を管内一元化し、市場に示した出荷計画を一丸となって確実にこなすことで信頼を獲得。今では共選出荷としてトップの評価を得る産地に成長した。メンバーの入れ替わりもありながら、現在は12人で約65万本を定植する。J Aの尾鼻由昌販売担当とは発足当初からの付き合いで「栽培のタイミニングなどすべて熟知しており、今や営農指導も兼ねた販売担当だ」と目を見張る。

有望視している。一方、トルコギキョウはうまく育てられなければ花が咲かず、その繊細さから栽培が非常に難しいといわれる品種だ。分科会では「最低、何品種を何坪作るか」といった基準を設けて品質と量を約束できる産地ブランドの維持に努めている。

規模を拡大しながら産地を維持し続ける難しさはあるが、尾鼻担当は「分科会全体で100万本の定植」を見据えている。達成には新たな仲間への加入も不可欠だ。楠本さんは「花き栽培は温室の整備など資金面で躊躇（ちゅうちよ）する人も多いと思う」とし、若手が産地をけん引していくためにも、J Aには「新規参入しやすい環境づくり」を期待するという。

「産地として常にいいものを作り続けたい」。楠本さんは、栽培の苦労は感じつつも、見方を変えて「トルコギキョウは難しいからこそ楽しい。手をかけた分だけ成果が目に見える」とやりがいを感じている。

生産者とJ Aが強力タッグ——。J A紀南トルコギキョウ分科会の一員として産地ブランドを守り続ける楠本さん(写真左)と、それをJ Aとして支援する尾鼻販売担当

紀南地方はトルコギキョウの栽培に適した産地だとい、尾鼻販売担当も「これからも伸びる品目だ」と

紀南のリード オフマン



雨や寒さと戦いながら「不知火」の木熟栽培を続ける中山さん

水腐れなどの苦勞を乗り越え

糖度15度以上で3月下旬から販売

デコポン木熟301

なかやま たけふみ
中山 雄史さん(42)

田辺市上秋津

春先になっても酸度の高い園地の「不知火」をどうにかして高値で販売できないか……と、J.A紀南が出荷者を募り平成22年に「デコポン木熟301」の販売を開始した。中山雄史さんは初年から参加し、営農指導員と試行錯誤しながら

「不知火」の果実の弱点でもある。水がたまって果皮が傷んだり水腐れが発生しやすくなるからだ。中山さんも、木熟栽培を始めた頃は、水腐れ対策として雨水が軸を伝って入りにくくするために綿を果梗部に巻いていたが、より効果が上がるとメデルフィルムを使うようになった。この技術は営農指導員の提案だったが、現在で

中山さんらの高品質栽培に傾注する姿勢をそばで見ると上秋津地区担当の小谷周平営農指導員も「組合員の皆さんが良い物作りで脚光を浴びることができればうれしいことだ」と自身の仕事のやりがいにつながっている。

食べやすいサイズ感にこだわり 安定生産に向け課題解決

なんたん蜜姫

まえだ としろう
前田 敏郎さん(74)

串本町串本

前田敏郎さんは60歳で勤めていた仕事を辞め、水稲とサツマイモの栽培を始めた。とりわけ地元生まれのブランド「なんたん蜜姫」には愛着を持ち、「このおいしさを全国に広めたい」と意欲的だ。「なんたん蜜姫」は、元々串本町に自生していたサツマイモ「サイパン」

食べやすい大きさに仕上がると満足」と話す前田さん。定植する間隔を40センチ、30センチと微妙に調整し、理想の形状を追い求めている。栽培については、「日当たりが良く、水はけが良い方が適している」といわれるが、日陰で湿気が多い所でも順調に育つことがあるように、何がベストか分からない。ただ、潮岬の風土や環境が適していることは間違いないと話す。一方課題は作柄の不安定さだ。要因は土壌細菌や病害虫、キジやネズミなど鳥獣による被害など多様かつ複合的。前田さんは生育不



「おいしさを全国にアピールしたい」と前田さん

がルーツである。ちなみに「極めて甘い」と評判が高かったことからJ.A紀南がブランド化をめざし、平成26年2月に商標を登録。生産者組織も設立された。串本サツマイモ部会に所属する前田さんは、生産者の中でも規模が大きく25アールで栽培する。当初は栽培に適した園地選びから試行錯誤したが、潮風が当たり、日当たりが良好な潮岬に落ち着いた。「日方はとれないが、個人的には大きいサイズが嫌で、食べる人が

健康志向の高まりを背景に

農薬使用を半減した白干し梅

加工梅特別栽培

むかい まさかず
向日 雅和さん(57)

田辺市稲成町



安心を求めるニーズに梅干し生産で応えたいという向日さん

有機や特別栽培（減農薬）など農薬の使用を減らした農産加工品が健康志向の高まりを背景に注目

されているが、J.A紀南では合併前の平成10年に梅酒用の青梅の特別栽培を始め、現在は梅干しにもその幅を広げている。向日雅和さんも23年前、加工梅特別栽培グループのメンバーに入り、一次加工した白干し梅を出荷している。特別栽培とは、農薬の使用回数を慣行栽培の半分以下にし、除草剤も使用しないなどの基準がある。J.A紀南は梅の特別栽培で平成14年に県の外部認証を受けた。紀南は温暖多雨で病害虫も発生しやすい地域であり、減農薬も当初はチヨウヤ梅酒と試行的部分も含めて始まった。メンバーは「その防除は本当に必要か？」と実証を積み重ね、主にかいよう病防除剤の効果的使用のタイミングや風の少ない園地選びや防風対策などの耕種防除のノウハウを積み重ね自信を深めた。

向日さんも、農薬散布が半減した一方、手作業での除草作業は体力的にも負担となった。生育期は天気予報で降雨・降水量を予測し薬剤散布の効果を上げる調整の苦労もついて回る。

良に直面するたびにJ.Aの営農指導員に尋ね、解決策を模索する。同じ親芋で毎年栽培しているが病気になるやすいため、それを防ぐ方法として「メリクロン苗」の導入による更新も視野に入れる。安定生産に向け、営農指導員との情報交換は欠かせない。

生産意欲はあるものの、前田さんが心配するのは生産者の高齢化と担い手不足だ。「現実的に10年後、生産を維持できているかと言われたら疑問が生じる」と言い、生産力確保が喫緊の課題と訴える。近年、各地で焼き芋ブームが起きている。前田さんは「ブームはやがて消えるもの」と冷静だが、「なんたん蜜姫」が全国で注目されることを人一倍強く願う。食べ方はいろいろあるが、シンプルに、じっくりと焦げ目がつくほど焼いて食べるのが「一番うまい」。

それを続ける原動力は「安心な特栽培干しのブランドを求めるニーズがあり、そういう方々に食べてもらい、喜んでもらえることだ」という。J.Aの特栽培干しは中芳養加工場を中心に各加工場で7%まろの梅と5%減塩梅干しに二次加工し

て、関西地区の生協やデパート・百貨店などで販売されている。向日さんは稲成生産販売委員長でもあり「産地を守るためには一人で悩んでも仕方がない。生産者とJ.Aがお互いの役割を發揮し、農家が儲かるという大きな目標に向かいたい」と話している。

ら取り組んでおり、令和4年産では6アールをJ.Aに出荷した。「デコポン木熟301」は、5月の開花後301日以上、木成りさせ収穫するというのが命名の元だが、品質的には糖度15%以上という基準が設けられている。

他にも水腐れの対策に苦勞していたところ、営農指導員から固着剤のアピオンEの袋掛け前の2回の混用散布をアドバイスされ、発生が抑制されたこともある。

通常の「不知火」よりも1カ月ほど遅らせて3月に収穫する。雨や寒さから果実を守るため袋掛けなどをする必要があるが、鳥獣害に遭うリスクも高い。

風雨にさらされ、苦勞を重ねて作り上げた「デコポン木熟301」は、J.Aでも木熟中晩柑のこだわり商品の筆頭に位置付けられ、単価は通常の「不知火」の2・5倍の値が付いている。

中山さんも、市場の引き合いが強い301の栽培を拡大したいと思いはあるが、労力的な面もあり、まずは現状の6アールを維持したい方針だ。経営の品目構成については、梅と温州ミカンを減らし中晩柑類の比重を高めたいと考えている。

中山さんらの高品質栽培に傾注する姿勢をそばで見ると上秋津地区担当の小谷周平営農指導員も「組合員の皆さんが良い物作りで脚光を浴びることができればうれしいことだ」と自身の仕事のやりがいにつながっている。



令和5年度 連載 NO.2

常勤役員による組合員訪問

- J A 紀南では、8月から常勤役員による組合員訪問を行っています。その中でいただいたたくさんのご意見やご質問を整理し、Q & A形式で回答させていただきます。

■ 指導部門 ■

Q1

繁忙期の雇用確保のため、J Aの無料職業紹介所へ申し込んだところ、マッチングが成立できて助かった。

A1

J A 紀南無料職業紹介所では、9月時点で70人の生産者から150人の求人希望があり、58人のマッチングが成立しています。地域人口の減少もあり、求職者(働きたい人)数が伸び悩んでいます。現在、大学の協力を得ながら学生さんに農作業に携わってもらい、地域農業への理解を深めてもらうとともに、労働力の一端を担ってもらえるような取り組みにチャレンジしています。また、今後は労働力募集アプリの活用等にも取り組み、より多くのマッチング機会増加に向け継続的に努めてまいります。

■ 販売部門 ■

Q2

精算書の様式が変更されているが、手取り単価が載っていない。全体を数量で割れば算出できるが不便である。農家は手取りの1%単価をよく見ている。

A2

販売システム(荷受・精算にかかるシステム)が令和5年3月から新システムに更新され、インボイス制度対応にともない、販売(精算)代金振込通知書の様式が変更になりました。県下J A統一の様式となっており、項目内容についての要望を行っている状況でありますのでご理解をお願いします。

■ 購買部門 ■

Q3

生産コストが高くなっている。肥料の高騰対策はありがたいが、ミカン栽培には農薬が多く必要になるので、もう少し価格の検討をしてほしい。

A3

肥料に限らず農業資材関係の多くの品目が値上げ傾向にあります。農産物を育成するうえで肥料農薬は必需品となりますので、特別対策品目を含め、できる限り安価に購入していただけるよう、今後も努力してまいります。また、肥料情勢ですが、10月28日付の日本農業新聞にも記載がありましたが、世界的に肥料原料の需給が緩み、2期連続の値下げとなっています。

Q4

肥料は値段が高い安いではなく中身だと思う。

A4

肥料については「肥料取締法」に合致したものを供給させていただいています。また、肥料製造業者においては、年に数回程度の農林水産省の検査を受け、保証成分等に問題がないことを確認しています。今後も肥料として間違いのない物を供給していくことは当然ですが、これまでと同様に指導部と協議し、各生産品目や土壌診断の結果を基に、肥効の良い物や園地に合った肥料の開発と販売に努力していきます。

■ 加工部門 ■

Q5

梅の商品についても、新商品の開発は進んでいるか。

A5

消費者や取引先から求められる多種多様なタイプの梅干し製品をはじめ、おにぎりや料理に使いやすい種抜き商品を開発して、拡販に取り組んでいます。また、アンケートを実施し若年層に好まれる味の研究や、コンニャクゼリー、グミなど梅味の菓子類などにも展開しています。幅広く梅を使用してもらえるよう、料理レシピの拡散、料理用(業務用)の梅干しや梅肉の提案を実施しています。



令和6年(2024年)の辰年は、陽の気が動いて万物が振動するため、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。辰年生まれの皆様は新年の抱負をうかがいました。



昭和63年生まれ
いしばし かずき
石橋 一希 さん
(田辺市秋津町)

趣味は仕事終わりのフットサルで、最近では3歳の娘も連れて一緒に楽しんでいます。新年は心機一転、新しい仕事を頑張りたいです。



昭和63年生まれ
たけもり ようへい
武森 洋平 さん
(田辺市上芳養)

9月に生まれた娘の子育てを頑張りたいです。またコロナ禍でこれまで旅行に行けていないので、新年はいろんな所へ家族で行きたいです。



昭和39年生まれ
やまもと こういち
山本 晃一 さん
(田辺市秋津川)

新年は3人いる子どもたちが全員それぞれの学校を卒業するので大きく環境が変わりそうな予感がしています。上手くいくよう願っています。



平成24年生まれ
しまかみ わく
嶋上 和玖 さん
(田辺市新庄町)

足が速くてヒットをいっぱい打てる野球選手になりたいです。弱気にならず、強気なバッティングでみんなを優勝したいです!



昭和51年生まれ
すぎもと きょうこ
杉本 恭子 さん
(田辺市朝日ヶ丘)

新年から子どもが小学校に進学するので、自分自身も新しいことにチャレンジし、体調に気を付けながら心機一転頑張りたいです。



昭和51年生まれ
ばんだいら ともふみ
番平 奉文 さん
(田辺市中三柄)

就農17年目、家族のため新年はさらに農作業に力を入れていきます。趣味の釣りではグレ50釣、アカイカのワンハンドレット達成を目指します。



昭和63年生まれ
いしやま だいいち
石山 大地 さん
(田辺市目良)

2023年に愛犬(むぎ)を家族として迎え入れました。新年は心が癒される年になりそうです。家族みんなで公園に行くのが楽しみです。



平成12年生まれ
さかもと たつや
坂本 龍哉 さん
(田辺市中芳養)

新年は社会人2年目の年になります。より一層元気に働くためにも、おろそかにしていた運動を私生活に取り入れていきたいです。



昭和27年生まれ
ゆかわ さちこ
湯川 幸子 さん
(白浜町庄川)

旅行が好きで友達と各地へ行きましたが、富士山は何回見ても綺麗で、もう一度見に行きたいです。新年も家族と健康で楽しく過ごしたいです。



昭和51年生まれ
しょうた なおき
庄田 直樹 さん
(田辺市新庄町)

田辺市で自動車修理や整備などを行っています。新年はこの仕事に就いて29年目、節目の30年に向けてさらに頑張っていきたいです。



平成12年生まれ
はしづめ ふたみ
橋爪 双見 さん
(白浜町平)

コロナ禍が明け、趣味の旅行にも行きやすくなり、次の旅先を考える時間が楽しいです。まずは年明けの沖縄旅行を存分に楽しみたいです。



昭和39年生まれ
やまもと けんじ
山本 健二 さん
(田辺市新庄町)

一年健康で過ごせるように体づくりも兼ねた趣味を見つけていきたいです。また旅行にも行きたいので、計画していきたいです。



昭和15年生まれ
さかもと みさこ
坂本 操子 さん
(すさみ町佐本中)

新年も元気で楽しく農業を出来ることを目標に、J A女性会や直販所ひまわり会への参加と、会員皆との出会いを楽しみに頑張りたいです。



昭和15年生まれ
たなか ただとし
田中 忠敏 さん
(串本町潮岬)

航空自衛隊員として串本に赴任した際、縁あって妻と結婚しました。故郷の北海道を離れて65年余り、親の歳を超えるべく健康に留意したいです。

田辺の将棋大会が縁で

藤井八冠の師匠・杉本八段を訪問

梅干しとミカン贈呈

王将

JA紀南は12月5日、将棋のプロ棋士として活躍し藤井聡太八冠の師匠である杉本昌隆八段に、梅干しとミカンを贈呈した。田辺で開かれた将棋大会がきっかけで実現したもので、ミカンを試食した杉本八段は「スイーツのように甘い。弟子たちと大切にいただきたい」と笑顔で話した。

今年9月、JAが特別協賛した「和歌山梅みかん将棋大会」の関係者である尾谷仁史さん（田辺市あけぼの）から、「地元の特産物と将棋の発展につながれば」と親交のある杉本八段を紹介さ

れたのがきっかけ。この日は、JAの特産物PR大使を務める宮本李菜さんが名古屋市内の「杉本将棋研究室」を訪れ、杉本八段と対面。「紀南の生産者が心を込めて作ったミカ



杉本八段（右）にミカンと梅干しを手渡すPR大使の宮本李菜さん（12月5日、名古屋市内で）

ンと梅干しを食べて、さらなる活躍を心から祈念します」と話し、JAの最高級ブランドミカン「木熟201」と紀州梅干し「まろの梅」を手渡した。杉本八段は「ミカンは大好物で、冬場は将棋とこたつとの相性が良い食べ物。梅干しも昔よく母親が自家漬けていたので子どもの頃から親しみがある。わざわざおいでいただき感謝します」と笑顔で話した。

クビアカツヤカミキリ

76 梅園地の 855 本を調査 管内発見無しも嚴重警戒を



梅の木の下にフラスが出ていないかを確認する西牟婁振興局やJAの営農指導担当

西牟婁振興局とJA紀南は11月14と20の2日間、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの発生調査を田辺市、白浜町、上富田町、

来昆虫。平成24年に国内で初めて発生確認され、令和5年5月には近隣の御坊市で被害が見つかり、梅産地でも嚴重警戒をしている。振興局の農業水産振興課とJA紀南の指導部職員が管内の76園地の855本を巡回調査した。梅の木の主幹や主枝を見て成虫の食入箇所が無い、幼虫が出すフラスと呼ばれる木くずのような排せつ物が無いかを入念に確認した。

すさみ町で行い、現時点では被害樹が無いことを確認した。クビアカツヤカミキリの成虫の発生は5月から8月で、産卵ふ化した幼虫が樹木内部を食害し木を枯らす外

理事会だより

第9回(令和5年11月27日)

【協議事項】

- 議案第75号 令和5年度 上半期決算の承認について
- 議案第76号 系統外新規取引先の承認について
- 議案第77号 「マネー・ローディング等および反社会的勢力等への対応に関する基本方針」および「マネー・ローディング等への対応に関する規則」の改正について
- 議案第78号 固定資産(田辺市秋津町土地)の取得について
- 議案第79号 中央営農経済センター及び営農経済本部の改修工事について
- 議案第80号 組合員出資口数減少の承認について
- 議案第81号 利益相反取引の承認について
- 議案第82号 JA事業資金の貸付について
- 議案第83号 JA事業資金の貸付について

県JA合併

「期日延期申し入れを」と組合長

下期のブロック別総代懇談会で報告

JA紀南は11月14・15・16の3日間、下期のブロック別総代懇談会を開き、田辺・富田川・大辺路の会場（計6回）で142人が出席した。冒頭あいさつで山本治夫組合長は県1JA合併に「各JAの課題解決、各地域における事業の運営や採算性など十分協議されておらず、合併予定日の延期を申し入れる予定だ」と報告した。

組合員との対話強化のため、昨年下期のブロック別総代懇談会を実施。今回は上半期の決算結果や事業報告に加え、県1JA合併に関する協議の進捗状況の説明を行った。

県1JA合併については令和7年4月の合併実現を目指し協議を進めているが、山本組合長はこれまで「協議を進めていく中、JA紀南の主張との間で大きな相違点があり、折り合いがつかなければ改めて組合員の意見を聞いて理事会で協議する」との考えを示してきた。

合併に向けての協議は各JAの組合長でつくる協議

会、専務の幹事会をはじめ、企画管理・金融共済・営農

経済の各担当常務や部長などによる専門委員会などが定期的に関わっている。

その過程で、経営基盤強化のための課題解決への取り組みや地域本部の在り方、営農経済事業の採算制

確保のための方策などについてさらに具体的協議が必要であること、JA紀南の

課題解決には期間が短すぎることなどを理由に、理事

監事をつくる役員協議会において、合併期日の2年な

いし3年の延期を申し入れることを方向づけた。

懇談会では、合併に関する検討状況について、めざ

す



フラワーアレンジメントを手に修了した農業塾受講生の皆さん

「すべてが楽しい経験」

第12期「農業塾」が修了

JA紀南は11月22日、第12期「農業塾」の第9回講座と修了式を中央営農経済センターで開き、10人が修了証を受け取った。最終講座は津田奈保子さんによるフラワーアレンジメント、トルコギキョウやダ

リアなど紀菜柑にある地場産の花を使い、それぞれが思い思いの作品を作った。受講生が育てたハクサイと小カブの品評会もあり、ハクサイは後畑聖司さん、小カブは徳永由紀子さんが最優秀賞を受賞した。修了式で山本治夫組合長は「農業塾の経験を活かして紀菜柑にも出荷してほしい」と激励。受講生の山本美保さんは「農業が初めての経験でしたが楽しい経験でした。できる範囲で続けたい」と感想を述べた。

農業では、労働災害が昨年と比べて2倍近くに増加しています！

収穫中の高所からの「墜落・転落」、畑での「転倒」、目に枝が突き刺さるなどの「激突」、刈払機・鎌による「切れ・こすれ」などが例年多く発生しております。労働者が安心して、安全に働くことができるように、事業場内の労働環境を今一度確認してください。

墜落・転落災害に注意！

- 高所作業を行う際には、木の枝には登らず、安定した場所で脚立を用いて作業を行っていますか？
※果物の収穫・剪定中に、登っていた木の枝が折れたり、不安定な場所で脚立を使うなどにより、高所から落ちる災害が発生しています。
- 畑の端が崖になっている場合、落ちないように手すり柵などを設置していますか？
※畑の端で脚立を用いた作業中、バランスを崩して崖から落ちる災害が発生しています。
- 作業前に労働者に危険な場所を伝える、危険な場所に表示を行うなど、注意喚起していますか？
※急な斜面からの転落災害が発生しています。

その他の注意事項

- 人が歩く場所に、道具や機械を放置していませんか？
- 濡れたネットの上を歩いていませんか？
- 作業内容に応じて、長袖・長ズボン・長靴・ヘルメット・保護メガネを着用していますか？
- 刈払機の使用を中断するときは必ずエンジンを止めていますか？
- エアーばさみ、鎌などを使用する際、切創防止用の手袋を着用していますか？

田辺労働基準監督署 安全衛生課 ☎ 0739-22-4694



かんきつ

令和5年産の温州ミカン等は、早生ミカンの満開日が4月29日と前年より3日程度早く、平年より4日程度早くなった。満開後は曇雨天が多く、第一次生理落果は助長され、第二次生理落果はだらだらと続いた。7月中旬以降は降水量の少ない時期が多く樹体にストレスがかかり、8月上旬から糖度は高く推移した。9月中旬以降は、ほぼ平年並みの降水量があったものの、早生ミカンの品質は良好であった。

収穫後の樹体管理が次年度以降に影響するため、まずは冬の基本的な管理を行い、健全な樹体づくりを取り組もう。

◆**樹勢回復**
マルチ被覆や木熟栽培は樹体への負担が大きいため、収穫後の樹勢回復は結実安定のために大変重要であり、秋冬期には欠かせない作業となる。秋肥の施用が遅れたり、未施用の圃場や葉数が少ない木、樹勢が弱い木は1月中旬までに暖かい日を選んでチッ素主体の葉面散布(尿素・あざやか等)500倍液を7~10日間隔で3回以上積極的に散布して樹勢回復に努める。

◆防寒対策

常緑果樹は落葉果樹に比べて耐寒性が弱い。毎年寒害を受ける圃場では防寒対策が必要となる。対策はコモや寒冷紗などで樹体を覆うのが効果的である。

◆土づくり

安定収量と高品質生産には、健全な細根を多く発生させ、樹勢を維持するための土づくりは欠かせない。

長年、石灰を施用しないとpHが下がって土壌が酸性化し、肥料の吸収が悪くなる。適正pHを保つために、石灰資材を施用しよう。

圃場の土壌pHは土壌分析で把握できる。JA紀南でも年間数回の土壌分析を実施している。今年度の土壌分析は終了しているの

興味のある方は来年度に行おう。

がる恐れがある。作業が遅れ開花が始まる場合でも必ず剪定は行おう。

◆病害虫防除

◆**ハダニ類、カイガラムシ類**
越冬病害虫にはハダニ類、カイガラムシ類があるが、中でもミカンハダニは薬剤抵抗性によりダニ剤の使用が制限される。機械油乳剤95は虫体を油膜で覆って窒息させるため、抵抗性をつけることなく高い効果を発揮する。

12月に機械油乳剤95でダニ類・カイガラムシ類の防除ができていない圃場では、2月に花芽分化の時期を迎えるため、1月中旬までの暖かく好天が続く日を選んで機械油乳剤95を45倍で丁寧に散布する。

ただし、樹勢が弱っている木や寒さの厳しい圃場では落葉を助長させる恐れがあるため、無理に散布せず、3月にアタックオイルを散布するようにしよう。

◆交配用ミツバチの設置

主力品種の「南高」は、同一品種の花粉では結実しない自家不和合性である。風媒による受粉もあり期待できないため、受粉樹の花粉を運ぶミツバチの働きが生産安定には重要となる。巣箱の設置に際しては、①日当たりの良い場所に置く②巣箱の出入り口は南向きにする③雨水が入らないよう出入口をやや低くすることなどに注意する。開花期中はミツバチ保護のため薬剤散布は厳禁となる。開花前の防除も、巣箱の設置場所への十分な気配りが必要である。

◆病害虫防除

○**ノコメトガリキリガ(ハナムシ)**
開花期に蕾や花を食害し、多発すると結実不良になる。特に山林に隣接する圃場で発生が多く見られる。多発圃場では、開花前にモスビラン顆粒水溶剤(20000倍・前日まで・3回以内)、またはサムコルフロアブル10(50000倍・14日前まで・3回以内)などで防除する。

○**灰星病(写真1)**
病原菌は蕾や花に感染し、腐敗菌が枝に侵入し枯死させる。特に小梅(白王系・パーブルクイーン

梅

◆整枝・剪定

秋から剪定作業が進んでいると思うが、作業が遅れるほど不要な枝に養分が分配され、貯蔵養分の無駄使いとなるため、開花時期までに剪定作業を終了するように取り組もう。無剪定の場合、その年の着果量は多くなるが、新梢の伸長が少なくなり、樹勢低下につながる。

回以内)。

◆ウスイエンドウ(露地春採り)

○整枝

整枝はウスイエンドウの栽培管理で最も重要な作業である。整枝により採光が良くなり、病気の抑制や薬剤散布の効果が上がる。

霜害に遭うことも考慮し、少し多めに残して側枝を間引く。霜害が少なくなる2月下旬~3月には1畝当たり25~30本となるよう整理する。

○追肥

草勢の低下は、さやの肥大を抑制する。

つる上部の花のステムの長さ(新芽が出た位置から花が咲くまでの距離)や、節間長が短くなると草勢が低下している。2番花が咲いた頃と、満開時を目安に追肥の施用を行う。施肥の目安量として、樹勢を確認しながら1畝当たり尿素入NK化成2号を1~3^ホ施用する。

○防除

1月はまだ病害虫被害は少ないが、マメハモグリバエ(通称工カキムシ)の発生予察として、黄色粘着シート(ピタットトルシー等)を2畝当たり1枚、高さ1畝の位置に設置する。

◆ソラマメ

○整枝

4~5本の主枝を剪定後も株元から脇芽が発生するため、見つけ次第摘み取る。

○**摘花**
1節に通常5つほどの花が着くため、上側の3花を摘み、下側の2花を残す。

(富田川営農経済センター・尾野敏之)

◆**病害虫防除**
花きでは、低温多湿条件下で発生が多くなる病気や、活発に活動を続ける害虫があるため、気象条件に応じた対策が必要となる。

基本は、病気が発生しにくい環境にするため、ハウス・トンネル栽培では、日中の換気をこまめに行う。露地栽培では、高畝にするなどの排水対策に努める。そのうえで薬剤防除が必要な場合は、次の点に注意して防除する。

①同じ薬剤の連続散布は避け、成分の異なる薬剤をローテーションで散布する。

②葉害防止や、薬剤効果を高めるため、晴天の午前中に散布する。

③露地栽培では、降雨後に病気が発生するため、降雨直後の防除に努める。

○**灰色かび病**
病原菌は、被害残さとともに越冬・越冬する。低温多湿で分生胞子を形成しやすく、飛散・伝染す



■写真1 梅の灰星病

スモモ

◆整枝・剪定

棚仕立ては開芯自然形を平面化した2~3本の主枝が基本だ。現在、紀南のスモモは成木から老木の割合が高いため、太枝の数が多く結果層の確保ができていない園が多く見られる。太枝の数を減らし、古い枝の整理を行うとともに、徒長枝を利用して結果層の確保など枝の若返りを図ろう。

あわせて棚の点検や古くなった棚パイプの取り替えも行う。

(芳養谷支所営農経済・左向政輝)

水稲

◆土づくり

田植え前の急な耕耘による稲株や稲わらによる障害を避けるため、前作の秋冬期に耕起し腐熟促進を行う。年内に荒起こしできていない場合は、早めに荒起こしを行う。

(富田川営農経済センター・尾野敏之)

野菜

◆レタス

○温度管理

トンネル被覆後は、換気の仕方が生育等に影響を及ぼすため、温度管理を徹底する。晴天時と湿度が高い時は、トンネルの両裾を開けて換気を行い、夜間は閉めて保温を行う。

○水管理

乾燥は異常結球の原因となるため、適宜かん水を行う。結球期以降のかん水は控えめにする。

○病害防除

集中豪雨に備えて圃場の排水路を整備する。降雨後は、速やかな排水と、風雨によって生じた傷口からの病原菌の侵入による発病を防ぐため、冠水による泥などの葉の汚れが乾かないうちに洗い流す。防除薬剤はトップジンM水和剤(20000倍・14日前まで・2

★QRコードを読み込むと、
収穫の様子が動画で分かります！
※Wi-Fi環境での読み込みを推奨
します

白浜町
中

レタスの収穫まで生長を観察
品質良好で1000箱を見込む



吉田 幸弘さん

白浜町中の吉田幸弘さん(64)は11月下旬からレタスの収穫を始めた。今年は9月から11月上旬までの高温の影響で大玉傾向となり、カタツムリの発生も見られたが、昨年並みの1000箱の出荷を見込み、品質も良好に仕上がっている。収穫は3月上旬まで続き、共選のほか直販所あぜみちにも出荷している。

収穫率を上げるため、苗作りから収穫までレタスの生長をよく観察し、定植やかん水など一つひとつの作業工程を丁寧にこなすことを重要視しているという吉田さん。「柔らかく、最もおいしいと思えるタイミングで収穫するよう心がけている。サラダはもちろん、冬場はしゃぶしゃぶにして食べるのがおすすめ」と話している。



最もおいしいタイミングをみてレタスを収穫する吉田さん

田辺市
稲成町

「ゆら早生」の木熟タイプの出荷に初挑戦
糖度13%の「極天」ブランドミカン目指す

榎本 清孝さん

田辺市稲成町の榎本清孝さん(59)は今年初めて、JA紀南が販売を企画する「ゆら早生」の木熟タイプの生産・出荷に挑戦し、10月下旬に2トンをJAに出荷した。

「ゆら早生」は通常、JAでは10月販売だが、糖度は高いが酸度も高い園地を木熟タイプとした販売に約10年前から取り組み、今年は生産者10人が14トンをJAに出荷した。

榎本さんは、15畝の「ゆら早生」園地を全面マルチ被覆し、8月下旬までに摘果作業を3回行うなど、手塩にかけて育てた。JAが「極天」ブランドとしている糖度13%以上を達成しており、出来栄に充実感を得、「農業をする以上、味を問われる物を作って、自分の張り合いにしたい」と話した。



10月下旬まで置いた木熟「ゆら早生」を収穫する榎本清孝さん

「南高」の成木を3時間かけて仕上げ
兼業農家に対応し休日の剪定講習会



JA紀南指導部

JA紀南指導部は11月12日の日曜日、田辺市秋津町の梅園で「休日の梅剪定講習会」を開き、兼業農家のサラリーマンや定年帰農の農業者など27人が参加した。

管内でも兼業農家の比率は年々高まっており、多様な営農形態に対応しようと、4年前から年1回の休日開催を始めた。

営農指導課の豊原晋哉担当が講師を務め、15年生程度の「南高」の成木の剪定を実演。主枝を2、3本とした開芯自然形を基本樹形に、「主枝の先端から見て主枝と亜主枝を三角形になるよう配置することが大事だ」と強調した。受光条件改善のため、込み合った亜主枝や側枝を躊躇なく間引くと、参加者は講師の手元が見えるようにと、食い入るように見入っていた。



方向を見極め枝を剪定する講師に釘付けの参加者

1月の農作業

○コナガラ
熱帯から高緯度地方にまで分布する害虫で、成長が早く年間発生回数も多い。低温でも成長を続ける。また、薬剤抵抗性の事例も多い。枝・茎を食害されると大きな被害となる。定期的に各種薬剤をローテーションで散布する。

○アブラムシ類
アブラムシ類は低温でも活動するため、厳寒期のハウス・トンネル栽培でも発生が見られる。直接被害の他に、吸汁によりウイルス病を媒介させる恐れもあるため注意する。近年、モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ等の薬剤抵抗性のある種が問題となっている。薬剤の選択と発生初期の防除に努める。

○菌核病
病原菌は、被害残さの上に菌核を形成し、土中に入り越冬・越冬する。春先・秋口に飛散・伝染する。低温多湿で発生しやすく、葉・枝に白色綿状のかびを生じ、後に黒い菌核を形成する。防除は発生初期に重点を置き、被害部位は菌核を形成する前にできるだけ処分する。

○コナジラミ類
コナジラミ類はハウス栽培では周年発生し、年間の発生回数は10回を超える。幼虫が葉を吸汁する他にウイルス病の媒介や、多発時には、すす病による汚れが発生する。各種薬剤をローテーションで散布する。薬剤は営農指導員に相談する。



写真2 花木のダニ類

○ダニ類(写真2)
葉の表面に濃緑色の斑点がモザイク状の症状がでる。外観が損なわれ商品価値が著しく低下する。発生時の薬剤防除が基本となるが、冬期(1月中旬頃まで)に晴天が続く暖かい日を選んでマシン油乳剤を葉裏にかかるように散布することで春以降の発生を軽減できる。薬剤は営農指導員に相談する。

◆病害虫防除
中央営農経済センター・射場直之

花木

中央営農経済センター・射場直之

第17回アグリパートナー交流会
農家と結婚しませんか??

農家結婚生活

海と山、自然が豊かな和歌山県田辺市でいちご摘みやフルーツカッティング、ホテルでのランチバイキングを楽しみながら、気軽に交流できる婚活イベントです。

令和6年2月24日(土)

申込開始日: 令和5年12月25日(月)
申込締切日: 令和6年2月8日(木)

対象 男性: 独身農業従事者
(田辺市またはJA紀南管内在住)
女性: 独身の方
(お住まいは問いません)

参加費 男性2,000円 女性1,000円

定員 男女各15名程度
(計30名程度) ※先着順

集合場所 ホテルハーヴェスト南紀田辺

開始 AM 10:30

終了 PM 5:30

申込 締切日までに下記QRコードからWEBまたは下記連絡先までお申し込みください。

※災害の発生・警報の発表・申込者が少ない場合等は、中止となる場合があります。

<お問合せ> アグリパートナー地域推進協議会

〒646-8545 田辺市新屋敷町1(田辺市役所 農業振興課内)
TEL 0739-26-9930(直通) メール nougyou@city.tanabe.lg.jp
https://www.city.tanabe.lg.jp/nougyou/ap.html

お申し込みは
WEBから



記事に関するお問い合わせは、JA紀南ふれあい課(☎0739-25-5806)まで。新規会員も募集しています!

白浜ブロック とんだ支部

信楽焼きの絵付けなど楽しむ 日帰り旅行で滋賀県内を観光

女性会白浜ブロックとんだ支部(古和田五保枝支部長)は11月7日、滋賀県への日帰り旅行を行い、31人が参加しました。信楽焼きの絵付け体験や近江八幡の水郷巡り、昼食には旬の松茸と近江牛の食べ放題などを楽しみました。信楽焼きの絵付け体験では、「私は絵心ないから嫌や」と言いながらも定番のタヌキの置物や、大皿、コップ等に真剣に絵付けをしていました。近江八幡の水郷巡りでは1時間の遊覧を楽しみ、船頭さんの話も面白く、あっという間に時間が過ぎました。人気スポットのラコリーナ近江八幡店にも立ち寄り、お目当てのバームクーヘンをお土産に買い求めていました。(ふれあい課・南部仁美)



信楽焼きの絵付けを体験する会員

白浜ブロック 白浜支部

個性の光る「辰」が完成 干支の押絵教室を開く

女性会白浜ブロック白浜支部(堅田チャ子支部長)は11月15日、白浜支所生活センターで干支の押絵教室を開き、24人が参加しました。干支の押絵教室は毎年好評で、来年の干支「辰」作りに今回も多くの方が参加しました。作成には手芸キットを用い、手順を間違ったり、パーツを紛失したりとハプニングもありましたが、話に花が咲く、にぎやかな活動となりました。それぞれの個性が光る辰が完成し、会員からは「もうお正月が来た感じ」「今回で十二支そろった」「1年経つのが本当に早くなった」といった声が聞かれました。(ふれあい課・南部仁美)



干支の押絵作りを楽しむ会員

すさみブロック

かんぶつの魅力を再発見! かんぶつマエストロ招き講習会

女性会すさみブロック(渡瀬道恵ブロック長)は11月27日、すさみ支所でかんぶつ講習会を開き、17人が参加しました。講習会のタイトルは「かんぶつの魅力を再発見!」。講師には、日本かんぶつ協会が認定する「かんぶつマエストロ」上級を本県で初めて取得し、学校などで食育に関する講演などを行う海南市の野田商店・野田智也代表取締役社長を招きました。乾物の魅力やどうすれば乾物を食べてもらえるかの模索、「乾物を食の原点の一つにしていきたい」など楽しく話してくれました。「煮物だけでなく、例えば切干大根を焼きそばに加えて炒めると食感が楽しめておいしいですよ」との提案もありました。このほか麩を使ったおやつ「あべかわ麩」の調理・試食も行い、「今回教わったことを家で実践してみたり、娘にも教えてみようと思います」といった声が聞かれました。(ふれあい課・西田愛美)



かんぶつマエストロの野田氏の講演に聞き入る会員



野田氏に教わり「あべかわ麩」を作る会員

完成した『あべかわ麩』

なかへち 日置川 上富田 白浜

晴天の中で楽しくプレー グラウンドゴルフ大会を開催

JA紀南女性会では10月、なかへち(2日・大塔水辺の楽校・14人)、日置川(3日・田野井総合運動場・14人)、上富田(18日・市ノ瀬ふれあい公園・29人)、田辺(23日・上秋津若もの広場・45人)、白浜(24日・白浜町清掃センター・29人)の5ブロックでグラウンドゴルフ大会を開きました。プレー中は「また入らんよ」「打ちすぎた」「ちょっと強めに打って」といった声が聞かれたり、「ホールインワン出た〜!」と拍手で盛り上がる姿がみられ、初めて入賞したという会員からは「賞をもらったの、初めてでうれしい!」と笑顔も見られました。各ブロックの入賞者は次の皆さんです(敬称略)。【なかへち】優勝=田中幸子▽準優勝=太田露子▽3位=山根八栄子【日置川】優勝=國吉智子▽準優勝=柏木紀美子▽3位=青山千鶴美【上富田】優勝=笠松千鶴子▽準優勝=藺田昭代▽3位=畑地妙子【田辺】優勝=橘紀代子▽準優勝=土山忠子▽3位=近葉秀子【白浜】優勝=竹中好美▽準優勝=南部芳江▽3位=尾崎千富美



①景品を受け取る入賞者(なかへち) ②皆で一打の行方を見守る(田辺) ③景品を手にほほえむ入賞者(白浜) ④マスクを外し笑顔の入賞者(上富田) ⑤真剣なまなざしプレー(日置川)

女性大学「串本産なんたん蜜姫スイーツ」きらっと JAブランド芋でおやつ作り

女性大学「きらっと」(第12期)は11月10日、第3回講座を中央営農経済センターで開き、11人が受講しました。今回はJA紀南のブランドサツマイモである「なんたん蜜姫」を使って、サツマイモの三角パイ、スイートポテト、焼き芋の3品を作りました。焼き芋はなんたん蜜姫のほか、食感の違う2種類を用意し、レンジを使って作った後、計3種類を食べ比べました。受講生からは「なんたん蜜姫が一番甘くてねっとりした焼き芋でおいしい」「レンジや炊飯器で焼き芋ができるなんて!」との感想が聞かれた他、三角パイやスイートポテトは簡単に作れるということもあり、「家で子どもに作ってあげよう」と話す受講生もいました。



JA紀南のブランドサツマイモ「なんたん蜜姫」を使ったおやつを作る受講生ら

JAの事業紹介も行い、金融普及部職員からJAの職員やキャビンアテンダントの体験も交えた説明も「備えておくって大事やね」との声が聞かれました。(ふれあい課・西田愛美)



交通安全ポスターの応募作の中から県知事賞に選ばれた山西さんの作品(左上)

朝来小の山西さんが県知事賞

JA共済書道・ポスターコンクールで

JA共済主催の令和5年度「小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール」で、上富田町立朝来小学校5年生の山西陽彩さんの作品が和歌山県知事賞を受賞しました。

県内で8115点の応募があり、県知事賞を山西さんが受賞。(紀南管内で420点の応募)「お父さんが、ハンドドルを強くにぎって幸せを手放さないように運転している所や歩行者や家族が安全で幸せに暮らす所を強く思いながら描きました」と感想を述べました。

特別賞は次の通り。(敬称略)和歌山県知事賞 山西陽彩(上富田町・朝来小)▽全国共済農業協同組合連合会和歌山県本部長

農産物品評会に135点

秋津川ふるさとまつり

田辺市秋津川の各種団体主催による「秋津川ふるさとまつり」が11月19日に4年ぶりに開かれ、JA紀南の秋津川店と女性会秋津川支部が参加し、農産物品評会と喫茶コーナー、リサイクル品即売会を催しました。

農産物品評会には、生産者による力作135点がズラリ。その他のイベントとしては、小中学生による音楽発表会や福引抽選会などがありました。品評会受賞者は次の皆さん。(敬称略)

JA紀南組合長賞 谷口光宏(早生ミカン)▽秋津川町内会長賞 坂本喬(ダイコン)▽秋津川振興会長賞 森司(ユズ)▽秋津川公民館長賞 田中ツヤ子(ハクサイ)



ズラリと力作が並んだ農産物品評会

すさみ町と友好都市の寝屋川へ

寝屋川農業まつりで特産物を出品

JA紀南すさみ支所は11月18日、大阪府寝屋川市打上川治水緑地で開かれた「第41回寝屋川農業まつり」に参加し、地域の農産加工品をPR販売しました。

すさみ町は寝屋川市と友好都市となっており、同町の要請を受けてJAが毎年参加。今年も直販



特産のさんま寿司などをPRするJA職員

所ひまわり会の会員が作ったさんま寿司やいも餅、JA紀南のミカンと梅加工品を販売しました。この日は荒天で来場者が減少したものの、目当ての商品を楽しみに来てくれる人で賑わいました。参加したすさみ支所の稲葉睦典支所長は、「寝屋川市の皆さんが楽しみにしていることを強く

社会見学で紀菜柑など案内

新庄小4年生を受け入れ

JA紀南は11月30日、新庄小学校4年生21人の社会見学を受け入れ、職員が総合選果場、紀菜柑、中芳養加工場を案内しました。



児童たちの質問に答える紀菜柑の職員

「紀菜柑は開店して何年目」「梅干しは何種類くらいあるの」といった質問があり、職員が一つずつ丁寧に答えていました。

児童が育てた米とサツマイモ

周参見小と女性会が調理実習

JA紀南すさみ支所は11月7日、JA紀南女性会すさみブロックと協力し、周参見小学校の5年生児童27人と調理実習を通じて交流しました。

作ったのは、おにぎりや豚汁、ヨーグルトとフルーツ缶詰を使ったデザート。3品。おにぎりは9月4日の稲作体験で児童が

感じました。今後もJA紀南のPRに取り組んでいきたい」と話しています。

赤ちゃん簡単な手話

ベビーサイン教室を開催

JA紀南は11月14日と17日の2回、「JA共済アンパンマンこどもくらぶ」の会員を対象にしたベビーサイン体験教室を田辺市新庄町の「県立情報交流センターBig.U(ビッグ・ユー)」で開催。22組の親子が参加しました。

ベビーサインとは、まだ話すことができない赤ちゃん簡単な手話やジェスチャーを使いコミュニケーションを取る育児法のこと。JAでも親子の絆を深めてもらおうと教室を開いています。



楽しみながらベビーサインを学習

感情の表現や動物などさまざまなサインを教わり、ベビーサインに関するクイズ、ベビーサインを用いて一緒に歌うなど、親子

収穫した米を使用。おにぎりの具は、昆布とすさみ産の鰹節を使っておかか、JAの三栖生産販売委員会から提供してもらった梅干しの3種類を用意しました。豚汁には、女性会が作った味噌と1年生から4年生が10月20日に収穫したサツマイモを使いました。

この日の給食は休みとなり、自分たちで作った料理を存分に堪能。笑顔と歓声があふれる楽しい昼食となりました。おにぎりを5個以上食べた児童もいたとのこと。児童たちには、一人につきお米3口と試食用の梅干し、梅干しレシパンフレットをお土産として渡しました。(すさみ支所 長・稲葉睦典)



試食と交流を楽しむ女性会員と児童ら

来年春収穫予定のタマネギ苗

安宅小と支所職員で植え付け

JA紀南すさみ支所は11月7日、白浜町の安宅小学校の児童18人とタマネギ苗の植え付けを行

で楽しみました。

参加者からは「初めて参加したが楽しく学べた」「まずは『痛い』など、日常で使えるものから始めてみたい」といった声がかかれました。



親子で冬野菜の収穫体験!

JA共済アンパンマンこどもくらぶ

JA紀南は12月3日、田辺市のJA学童農園で「JA共済アンパンマンこどもくらぶ」の会員を対象に冬野菜の収穫体験を開きました。

この日は親子30組107人が参加し、ダイコンやハクサイなどを収穫。「ダイコンが見たことないくらい大きい」「楽しかった」といった声が聞かれました。収穫後は焼きイモとミカンを食べ、美味しいと好評でした。



タマネギ苗を植え付ける児童

元JA職員 元JA職員 さんの指導のもと、一本ずつ丁寧に植えていき、1000本以上あった苗があったという間に植え終わりました。収穫は来年春を予定しています。児童からは「収穫までしっかり管理していきます」との言葉がありました。(すさみ支所長・稲葉睦典)

11月 JA釣り大会結果

JAの支所(店)や生販主催の釣り大会が10月以降、各地で開催されました。11月開催分の結果を報告します。(氏名は敬称略です)

【上富田地区】11月8日・34人

▽総重量の部 1位 松石繁(9.5kg)、同2位 山根操(6.6kg)、同3位 山下和(5.8kg)▽部門賞 1位 菅谷満(大物 44kg)、坂本博一(イガミ、42.5kg)、数本守哉(グレ、42.3kg)、小倉哲男(アイ、32kg)、山下和(ハゲ、41kg)、井潤清一(他魚 2kg)、47.5kg)

J A 紀南公式Instagram
11月「いいね」ベスト3

JA紀南のInstagramで11月に「いいね」の数が多かった投稿を紹介します。※キャンペーンは除外

1位 林水産業まつり 4年ぶりに開催 田辺農林水産業まつり

11月12日投稿
197いいね!
「田辺農林水産業まつり」が11月12日、田辺市で4年ぶりに開催。多数の来場者で賑わいました。

2位 万呂獅子舞保存会が中央支所で舞を披露

11月22日投稿
192いいね!
田辺市の無形民俗文化財に指定されている万呂獅子舞保存会が、中央支所で舞を披露しました。

3位 「なんたん蜜姫」登場 JAブランドサツマイモ

11月10日投稿
143いいね!
濃厚な甘さにねっとりタイプの「なんたん蜜姫」が紀菜柑に登場。毎年大人気の一品です。

JA紀南オンラインショップ
11月売り上げベスト3

和歌山の特産を取り扱う、JA紀南のオンラインショップです。
<https://www.ja-kinan.com/>

1位 紀南みかん「天」(Mサイズ) 5kg

糖度・食味ともこの時期一番にだわりのJA紀南ブランドミカン「天」です。(今年度の販売は終了しました)

2位 紀南みかん「天」(Sサイズ) 5kg

糖度・食味ともこの時期一番のこだわりのブランドミカン「天」のSサイズです。(今年度の販売は終了しました)

3位 なんたん蜜姫 3kg

ねっとり甘い、串本町特産のブランドさつまいも。(今年度の販売は終了しました)

お問い合わせは JA紀南産直係まで ☎ 0120-36-9159 (平日 9:00~16:30)

松井 海遊	12月1日付	鮎川支所
大久保陽平	加工部 営業課・フルーツファクトリー (部門専門職員)	加工部 研究開発室 (部門専門職員)

職員異動

お悔やみ
監査室職員の児嶋正さんが、病氣療養中のところ、去る12月5日、お亡くなりになりました。53歳でした。心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、皆様にお知らせいたします。(総務部)

新採職員11人が農業体験学習
ミカンの選果や袋詰めなどを体験
JA紀南は11月中の2日間、今年度の新規採用職員11人を対象に、農業体験学習を行いました。新採職員は4カ所の受け入れ先に分かれてそれぞれ体験。田辺市上秋津の田中圭介さんの園地では、早生ミカンの選果、袋詰めを行いました。

栗栖 直暉	11月30日付	金融部 金融課
上野真由美	鮎川支所	

依願退職

参加した撫養優樹さん(上芳養店)は「初めての体験ばかりでとても勉強になった。この経験を今後の業務にも活かしていきたい」と感想を述べました。



ミカンを選果する職員ら

編集部のつぶやき
阪神タイガースが18年ぶりに流行語大賞にもなったアレ(優勝を決め、さらにオリックスとの関西ダービーを制し38年ぶりにアレのアレ(日本一)を達成し日本中が大いに盛り上がった。今月号では、アレの大きな原動力になった阪神タイガースの近本・中野の1・2番コンビの活躍を紀南産地に当てはめて新春特集「紀南のリードオフマン」と題してリードオフマンの存在のこだわり生産者に迫りました。私が取材した「未熟201」の前田泰輔さん、「加工梅特別栽培」の向日雅和さん、「デコポン木熟301」の中山雄史さんは、それぞれが熱い思いを持って地域の旗持ちとしてJAとタッグを組んでいいもの作りをまい進されていた。取材を通して私自身もリードオフマンの存在になれるようより一層レベルアップしていきたいと感じた。(小川)

管内74の小中学校へ
梅干しとミカンを贈呈



児童代表に手渡すJA役職員(新庄小学校で)

子どもたちに紀南の特産物に親しんでもらおうと、JA紀南は11月から12月にかけて田辺から串本まで74の小中学校に梅干しとミカンを贈呈しました。今年度は新庄小学校、市ノ瀬小学校、南白浜小学校、周参見小学校、串本西小学校で贈呈式を行い、11月30日には新庄小学校で山本治夫組合長が「梅とミカンは和歌山県の特産物。積極的に食べてほしい」とあいさつ。児童には一人当たり梅干しとミカン1個ずつと、梅干しの作り方やポイント、スケルトンパズル、管内のミカンの品種と特

JA資材店舗C甲子園で受賞



賞状と盾を手に笑顔の女性職員

中央営農経済センター
JA全農西日本営農資材事業所が主催する「JA資材店舗CS甲子園2023」で、JA紀南の中央営農経済センターが「新人賞」を受賞しました。資材の商品陳列やPOPによる魅力的な売り場を競うコンテストで、初参加。除草剤「ラウンドアップ」を陳列したコーナーと、店内の雰囲気やマツチしたことが受賞につながったこととです。原大輔センター長は「商品の

コラム

スポーツを通じて



Aコープいなり店長 蒲田 佳典

新型コロナウイルスの5類感染症への移行を受け、各地でスポーツが盛んに行われるようにコロナ禍前のように戻ってきました。テレビでも野球、サッカー、バレー、ラグビー、バスケットボールなどさまざまな競技が中継され、皆さんもスポーツ観戦に興じたのではないのでしょうか。その中でも私は特にバスケットボールを夢中で観戦しました。日本ではバスケットボールというスポーツはまだマイナーであります。しかし若い世代の選手の活躍もあり、48年ぶりのオリンピック出場権獲得という歴史的快挙を成し遂げました。

子どもたちからスポーツを通じて学ぶことはたくさんあります。コミュニケーション能力やリーダーシップの育成、フェアプレーやチームワークの精神の醸成、心身ともにスポーツで得られることはたくさんあります。またスポーツというものは、ルールの上で行うことから、言語や地域活動の制限に関係なく誰でもできるものであります。言葉の通じ合わない外国人とも、また年齢・性別に関係なく色んな世代で楽しむことができるのです。スポーツを通じて活動は地域の一体感や活力を与え高齢化の進む日本社会で人間関係の希薄化などに歯止めをかけることにもつながります。実際にスポーツを行わなくとも、国際大会での日本チームの活躍やひいきのチームの活躍が夢や感動を与え社会全体の活力ともなっています。スポーツ振興によりスポーツ産業も広がりを見せます。地域では雇用の促進につながり、またスポーツの経済効果は数百億円にも及ぶことがあります。オリンピック規模の大会にもなると周辺地域には競技場の設立、その他インフラの整備等もありオリンピック終了後も地域経済に影響を与え続けま

JA支所・事業所の年末年始営業のお知らせ

令和5年の年末から令和6年の年始のJAの営業予定は下表の通りです。

○=平常どおり営業 休=休業(休止) ☎=電話での受付(24時間対応) 時間記載=営業(稼働) 時間変更

事業/日程	12/29(金)	12/30(土)	12/31(日)	1/1(月)	1/2(火)	1/3(水)	1/4(木)	1/5(金)	
本所・支所窓口	○			休			○	○	
信用事業	ATM	Aコープたなみ	○	○	○	休	10:00~18:00	○	○
		上記以外のATM	○	○	○	○	○	○	○
	他	ローンセンター	○			休		○	○
共済事業	交通事故受付	○						○	○
	故障・レッカー移動受付	○						○	○
購買事業	ガスに関する受付	○						○	○
	中央営農経済センター	○	○			休		○	○
給油所(JA-SS)	支所(店) 営農経済窓口	○				休		○	○
	中央SS・とんだSS・鮎川SS	○	○	~18:00		休	8:00~17:00	○	○
	オアシス稲成SS	○	○	~18:00		休	8:00~17:00	休	○
	日置SS	○	○	~18:00		休		○	○
	中芳養	○				休		○	○
	上芳養・三栖・栗栖川	○				休		○	○
	三川・佐本	○				休		○	○
販売事業	各選果場・集出荷場	各選果場・集出荷場にお問い合わせください。							
直売所	ファーマーズマーケット 紀菜柑	○	○			休		○	
加工事業	各加工場	休							
店舗事業 Aコープ	熊野古道ちかつゆ・たなみ		○				10:00~18:00	○	
	あゆかわ		○				10:00~18:30	○	
	あぜみち		8:30~19:00				10:00~19:00	○	
	上記以外のAコープ		○				10:00~19:00	○	

◇通帳・キャッシュカードの紛失・盗難時 ☎0120-167-831 ◇ガスに関する受付は ☎0737-52-8864
 ◇交通事故の受付は ☎0120-258-931 ◇レッカー移動や故障時の対応は ☎0120-063-931
 ◇(公財)日本中毒センター ☎072-727-2499 (一般用)

4年ぶり田辺農林水産業まつり 品評会知事賞はミカンの愛須庄太さん

JA紀南も共催した「第36回田辺農林水産業まつり」が11月12日、田辺市の扇ヶ浜交流広場カッパークで4年ぶりに開かれました。「梅ジュースで乾杯」で幕開けし、JA女性会による梅うどんや青年部による青森リンゴ販売、JA紀南からは天ミカンや梅干し、新庄漁協からイワガキの販売などで賑わいました。神島高校の「神島屋」による梅開発商品コーナーには長い行列ができました。JAの特産物PR大使を務める宮本李奈さんも会場に駆け付けJAの「天みかん」をPRしました。

恒例の農産物品評会では、地元自慢の農林水産物や加工品など271点が揃いました。特別賞入賞者は次の方々です。(敬称略)

県知事賞=愛須庄太(温州ミカン、秋津)▽県議会議長賞=坂本喬(ダイコン、秋津川)▽県農林水産部長賞=天田勉(富有柿、上秋津)▽西牟婁振興局長賞=鈴木惣志郎(レモン、秋津)▽西牟婁振興局農林水産振興部長賞=岡崎ひろみ(ハクサイ、稲成)▽市長賞=羽竹恒和(大梅干し、三栖)▽市議会議長賞=山本芳雄(ワケギ、万呂)▽田辺市農業委員会会長賞=田中壽一(うるち米、秋津川)▽JA和歌山中央会会長賞=鈴木章生(ダリア、秋津)▽JA紀南組合長賞=米田壮伺(温州ミカン、稲成)



梅干しや梅加工品などが選べる梅くじも人気



会場で目を引いたPR大使の天みかん販売



会員手作りのバッグなどがズラリ



にっこり市と東部朝市による地元野菜販売

「田辺ミニフェスタ」賑わう 女性会が紀菜柑でイベント

JA紀南女性会田辺ブロック(瀧本かおりブロック長)は11月25日、「梅干消費拡大宣言」の一環で紀菜柑と中央支所と連携し「田辺ミニフェスタ」を開催。約1300人の来場者でにぎわいました。

女性会の食への取り組みとして、「にじのきらめき」の新米おにぎり200食を配布。また会員お手製のアクセサリやブルーベリージャム、リサイクルバザー、野菜などの販売や、デインブルアート作り、女性会体験コーナーも充実。ガラガラ抽選会やキッチンカー、骨密度測定などもあり、笑顔あふれる一日となりました。

オアシス稲成SS 業務終了のお知らせ

この度当給油所は、**令和6年1月31日(水)**をもちまして**業務を終了**させていただきます。ご利用の皆様には、永きに渡り格別のご愛顧をいただき、心より感謝申し上げます。

今後は中央SS(電話0739-25-1661)等、近隣店舗をご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

【お問い合わせ先】
 オアシス稲成SS ☎0739-25-0881
 中央SS ☎0739-25-1661

JA紀南

NISAデビュー 応援キャンペーン

一般NISA、または つみたてNISA を
開設した方にもれなく
Aコープ商品券 1,000円分プレゼント!

※支所窓口で特典申込書(裏面確認)をご記入いただく必要がございます。

キャンペーン期間

令和5年
8月1日(火)
~
12月29日(金)

JAバンクアプリから
投資口座開設が可能に!

※実施中の「JAバンク資産形成・運用はじめるぞうキャンペーン」との併用はできませんので、予めご了承ください。

さらに!

期間中、月額1万円以上の
投資信託自動つみたてのご契約で
Aコープ商品券 1,000円分プレゼント!

※キャンペーン期間中に口座開設をした方に限ります。

詳しくは、JA支所窓口や複合外務、渉外担当者までお問い合わせください。

1月の予定

*新型コロナウイルス等の状況によって中止・変更する場合があります。

- ◆企画管理
 - ◎JAマルシェ（JAまつり）……………14日
- ◆くらしの活動
 - ◎第12期女性大学きらっと……………19日
 - ◎ちゃぐりんサッカー大会……………27日
- ◆金融事業
 - ◎おかげさまで20周年キャンペーン第2弾（定期貯金）……………令和6年2月29日まで
 - ◎総合相談会……………19日
 - ◎定期貯金キャンペーン（ネットバンキング、すこやか、すくすく、退職金、相続専用、満期共済金専用）… 令和6年3月末まで
 - ◎定期積金キャンペーン（わんぱく）……………令和6年3月末まで
- ◆共済事業
 - ◎こども共済見積もりキャンペーン……………令和6年2月29日まで
 - ◎一生涯サポートキャンペーン……………1月末まで
- ◆指導事業
 - ◎梅着蓄調査……………1月中旬
- ◆Aコープ紀南
 - ◎夕市……………6日（土）15時30分～17時30分（デリシスイナリ、COOK-GARDEN、APIA、あぜみち、VASEO）
 - ◎朝市……………20日（土）開店～正午（デリシスイナリ、COOK-GARDEN、APIA、あぜみち、VASEO）

おしえてみかっぴ

答え。品種は早生温州で5月上旬の開花から、概ね200日以上樹上で生育されたもので、一定の基準をクリアしたミカンです。糖度によって選別し、市場に出荷されています。

※質問は3ページにあるよ



1月 無料相談会

法律や税金・相続に関することなど個別にご相談いただけます。

【日時】1月19日（金）午前9時～正午
 【場所】JA紀南本所（田辺市朝日ヶ丘24-17）
 【お申込み・お問い合わせ】JA紀南金融課（電話0739-23-3516）
 ※電話予約が必要となります。

SDGs

JA紀南のSDGsへの取り組み



今日のピックアップ!

本誌20ページ「管内の24の小中学校へ梅・ミカン贈呈」

SDGsの目標



地域の子どもたちに紀南の特産物に親しみをもってもらうと、JA紀南は11月から12月にかけて田辺から串本まで74の小中学校に梅干しとミカンを贈呈。その内5つの小中学校では、贈呈式を行いました。



JA紀南は事業や活動を通じてSDGsに取り組んでいます。



旬 温州ミカン

ピックアップ

JA紀南ファーマーズマーケット「紀菜柑」より、旬情報をお届け！12月から1月は、温州ミカンやイチゴなどのフルーツをはじめ、キャベツやダイコンなどの野菜類も豊富に並びます。

紀菜柑では、贈答用の箱入りや家庭用お買い得コーナー、通常の袋入りなど、直売所ならではの多くの品種やバリエーションで販売していますので、ぜひミカンコーナーへお立ち寄りください。

12月中旬～1月にかけての地場産入荷予定（一部）



千両



ダイコン



ホウレンソウ



葉ボタン



イチゴ



キャベツ

*天候等により入荷時期が異なる場合があります。

四季菜

直売所 かわら版



出荷者 山本智弘さん 田辺市中辺路町栗栖川

加工品紹介



全国提携JA 特産品紹介 醤油フランク 岐阜県JAゆめぐみの「これこたひろぼ」

キュウリのぬか漬けやハクサイ漬けの定番商品からかぶら漬けや高菜漬けのような季節物も豊富に並びます。できるだけ添加物を使わないようにこだわって製造しています。高菜やたくあんは食材に使っても美味しかったです。

国産豚肉のみを使用した醤油味のドイソ風本格フランクフルトソーセージです。焼いてご飯のお供や今の時期はお鍋に入れるのもオススメです。ジューシーで人氣のある逸品です。

エコープマーク品 ごま油



厳選したごまを香ばしく焙煎し、圧搾機で押しつぶしてごま油を搾り出し、何度も静置ろ過を繰り返すという昔ながらの製法で香り高く仕上げています。

店舗紹介 あぜみち



金田憲和店長



白浜・串本・南部から直送している新鮮な地魚

Aコープあぜみちは生産者コーナーが自慢の店舗です。白浜エリアの新鮮な朝採れ農産物を中心に販売しています。野菜や果物はもちろん、米や花が多いのが特徴。大規模農家から家庭菜園などの小規模の出荷もあり、パジル・クレソン・ミントなどの品揃えも面白いところ。地魚・寿司・漬物・手芸品まで幅広く品揃えしています。毎週日曜日は、生産者コーナーの商品に限りクミカポイントを3倍進呈しています。

A.coop 旬彩版

直販所「あぜみち」



定番から珍しいものまでズラリと並び白浜エリアの朝採れ野菜



種類豊富な花き類 地場産の新鮮な鮮魚

クアハウス白浜 第2回 JAウォーク

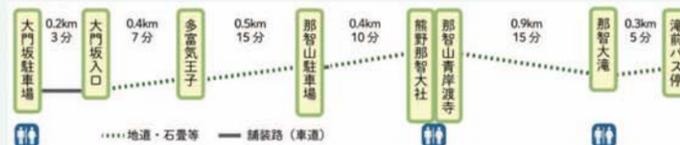
開催日：令和6年2月25日（日） 持ち物：タオル・水分補給・帽子
 締切日：令和6年2月11日（日） 動きやすい服装

集合時間：午前8時00分
 集合場所：クアハウス白浜（白浜町3102）
 対象：組合員・組合員家族
 定員：25名（現地にてJAみくまの参加者10名と合流）
 参加費：1,700円

クアハウス白浜 オリジナル弁当付

☆ウォーキングコース☆ 約5km 2時間30分

行き：約2.5km（大門坂駐車場～那智の滝）
 帰り：約2.5km（滝前バス停～大門坂駐車場）



※最少人数（15名）に至らなかった際は、中止とさせていただきます。
 ※中止の場合は申込時に頂いたご連絡先にお電話いたします。
 ※締め切り後の返金は不可となります。

お問い合わせ お申し込み



☎0739-42-4175 和歌山県西牟婁郡白浜町3102

人権の詩

こころのうた
2021
入賞作品の紹介

理事長賞(優秀賞)
中学生の部

上富田町立
上富田中学校2年

中野 真央さん

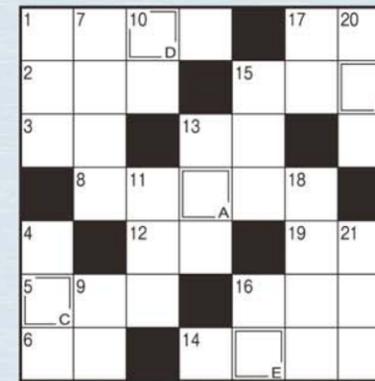
「耳が聞こえない私」
私は、耳が聞こえない。まわりの声や音が聞こえず、いつもどまどまどしてしまふ。学校の廊下で歩いていると、うしろからおされた。悪口を言われたり、たたかれたりもされた。私は耳が聞こえないから、みんな悪口を言う。そんな毎日が続いて、もう学校に行きたくないと思ってしまう。また学校で悪口を言われた。泣きそうになりながら、聞こえない耳で聞いていた。そして、同じクラスの女の子が、私の前に立った。おこった顔で、私に悪口を言っていた子達にむかってしゃべっていた。女の子達はにげていった。目の前にいた女の子がふりかえって、手話をしてくれた。「もう大丈夫だよ。」おもわず泣いてしまった。はじめて人に助けってもらって、うれしかった。耳が聞こえないのは、悪い事じゃないんだと気付いた。次は、私を助けてくれたこの子に、恩返しをしたい。



(公財)和歌山県人権啓発センター
*学校名・学年は応募当時のものです。写真はイメージです。

クロスワードパズル

Q.二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



【ヨコのカギ】

- おせち料理にも使うニシンの卵巣の加工品
- 旅行前に——ブックを買った
- 俳人が名作を生み出した地に建てられていることも
- 北を向いたとき西になる方向
- 丁寧というご飯です
- 横綱を先導して土俵に上がります
- セイウチの口からよっきり
- 農地——、道路交通——
- DNAが含まれる体の設計図。——操作
- 猫が中で丸くなっているかも
- 不要物を可燃、——、資源ごみに分別した
- 彼女は——を言わず彼を外に連れ出した
- エレベーターの表示では「B」

【タテのカギ】

- 大学入学共通テストの理科の科目の1つ
- キウイやボンカンの生産量が日本一の県
- エッセーともいいます
- かつお節や昆布で取ります
- ガラガラとうがいをして洗うもの
- ゆでた麺をざるにあげて行きます
- 大股の人は広めです
- カメやカッパの背に付いています
- や硯(すずり)を用意して書き初めをした
- カラオケで楽しむもの
- の計は元旦にあり
- 旧暦1月の異称
- 見張ること。——カメラ

12月号の答え シクラメン



読者の声

クロスワードパズル応募などでいただいた本誌の感想やJAへのご意見などを抜粋・編集し、地区名、氏名(ペンネーム、匿名)とともに紹介します。

●クックガーデンのレジの職員さん、何時も笑顔。キキビ、気持ちよいです。
(田辺市・67歳匿名希望)

●農人の柴田さんの生き方に感銘を受けるとともに、「隊長」の行動力がそれを支えてきたことに、お二人の絆を感じました。定年後の住処に和歌山を選んでくれてうれしいです。
(田辺市・60歳匿名希望)

●「人権の詩」何時も読みますが、心うたれますね。子どもなりに大変な毎日を送っているんだなあとと思うわ。私たちの時代とは全く違います。イジメなんかなかったからね。皆仲良く楽しく学校に行けたらいいのね。
(上富田町・小杉みつえさん)

●ブランドみかん「天」を食べました。甘味と酸味のバランスがよく、とても美味しかったです。もっと甘いと教えてもらった極天がとても楽しみです。
(田辺市・51歳匿名希望)

●いつも知り合いが載っていないか、楽しみに読んでいます。ふれあい広場のみなさんの写真、とても素敵ですね。
(田辺市・寺本舞さん)

●急に寒くなり、衣類や寝具などを慌てて冬仕様になっています。ちょうど紀南誌と一緒に届いた「JA紀南の通信販売」が参考になりました。節電暖か毛布とか、掛け布団と毛布が一体化して節電出来るっていいですね。
(田辺市・江藤弥生さん)

●発刊をいつも楽しみに待っています。これからも楽しく為になる情報をたくさん発信してください。応援しています。
(白浜町・宮崎正二さん)

●12月号に紹介されていたエコープマーク品のすき焼きのたれ、早速買いました。使いやすくお手頃でした。

(白浜町・濱本愛さん)

●スマホやインターネットですぐ調べ癖がついている中、毎月このクロスワードをするのが脳トレのひとつになっています。いいきっかけをありがとうございます。
(白浜町・29歳匿名希望)

●なかなか畑や土を触る時間がとれないので、キッチンで気軽にできる(水替えくらいで)野菜などの特集があったらいいと思います。
(串本町・松尾美由紀さん)

●毎月読ませてもらいありがとうございます。農家の方々の苦労も大変なのが分かりました。これからも頑張ってください。
(田辺市・石津久美子さん)

●広報誌のふれあい広場でもほのぼのします。いいコーナーだと思います。知り合いが掲載されていたら「この間のつたの」と話が弾みます。これからも楽しみにしています。
(田辺市・62歳匿名希望)

●カレンダーを毎年Aコープさんでいただいています。ありがとうございます。

●写真もとてもきれいで写真家さんの努力・思いを感じさせてもらっています。来年のカレンダー楽しみにしています。
(田辺市・72歳匿名希望)

●毎年「JAカレンダー楽しみにしています。」「紀南の四季」表紙にすこく感銘を受けました。作品は他県に負けない素晴らしい場所があるのだと痛感します。
(白浜町・えくぼさん)

●JA釣り大会があるなんて知りませんでした。女性の部もあり、女性の方も参加されていていいなと思いました。私も出たい!
(上富田町・野崎愛さん)

●あなたもチャレンジ家庭菜園の寒起こしと天地返し参考になりました。クロスワードパズルも楽しく解いています。
(串本町・76歳匿名希望)

●農人読ませてもらうのを楽しみにしています。皆さんよく頑張られていますね。
(上富田町・畑地妙子さん)

【パソコン・スマホから応募】

下記アドレスに答えと住所・氏名・年齢・電話番号と本誌の感想や要望、JAへのご意見等を書いてお送りください。Eメールアドレス
kouhou@ja-kinan.or.jp
→右のQRコードからも送信可



*ご意見の一部を本誌で紹介することがありますので、お名前を希望されない方はハガキ、メールとも「匿名希望」とお書きください。

締め切り：12月31日
(ハガキは当日消印有効)

【ハガキでの応募】

下記を参考に応募ください。

〒646-0027
JA 紀南広報係
田辺市朝日ヶ丘24-17

- クロスワードの答え
- 住所・氏名・年齢・電話番号
- 本誌の感想や特集してほしいコーナー、またはJAへの意見等

〈ハガキ表面〉

〈裏面〉

お年玉企画

読者プレゼント

Aコープ商品券
1,000円分 10名様





田辺市 真砂 良子さん (66歳)

いきいき熱中人

夢を叶え、箏の先生として活動中

小学校の教師を早期退職したのを機に、小さい頃からの夢であった箏(こと)の先生になりました。現在は、自宅で教室を開きながら、市内の小中学校に箏や三弦の指導に出向き、和楽器に興味を持つ子どもを育てたいと活動しています。

毎年恒例の田辺市文協フェスティバルには、箏曲菊宮会の仲間たちとお揃いの紫色の和服で出演し、多くの方に演奏を聴いていただくのが私の励みになっています。

現在は3人の孫(4歳と5歳の男児と6歳の女児)がいて、みんながそろると家がとても賑やかで、箏を鳴らしたり太鼓を叩いたりして遊んでいるのを見るのがとても楽しみです。

お母さんといっしょ!

田辺市東陽

熊本 くまもと むつみさん ゆいと 結翔くん(3歳) ちひろ 千紘くん(5カ月)

大きくなったらパトカーに乗りたい!

お兄ちゃんの結翔くんは、いつも元気いっぱい。今はお父さんと、ストライダー(ランニングバイク)に乗れるようにがんばってるんだ。

はたらくるまが大好きで、大きくなったらパトカーに乗りたいな。お歌も好きで、幼稚園の発表会にむけて「赤鼻のトナカイ」を練習中だよ。

弟の千紘くんはすくすく成長中で、だんだんと話せる言葉も増えてきたよ。早くお兄ちゃんと遊びたいなあ。《お母さんの話》明るく元気に育ってほしいです。



JA職員紹介



金融共済普及部 井戸本 征治さん

普及課で組合員・事業者の皆さまの資金需要に関するご相談やご提案と支所の外務担当者の活動支援を行っています。

休日は子どもの体操とスイミングの付き添いをしており、一生懸命に取り組む姿に感心させられています。

栗栖川出張所 北尾 ひとみさん



金融の窓口を担当しています。窓口に来られる組合員や利用者さんへの元気で明るい接客と、迅速で正確な手続きを心掛けています。

子どもが京都にいますので、神社やお寺を巡って、御朱印集めをしていきたいです。



Aコープ APiA 尾栄 幸代さん

商品の企画や生鮮食品以外の品出し、店舗全体のフォローなどを担当しています。欠品や清掃に気を付けながら、利用者の皆さんに喜んでもらえる店舗作りを心掛けています。

休日は、ウインドウショッピングをして楽しんでいます。

ふれあい広場

うちのペット



ねこちゃん(♀..メス)

飼い主: 田辺市秋津町 楠本奈央さん

病院に連れて行ったときに名前を決めていなくて「ねこって呼んでいるのでねこでいいです」と答えたことから少し変わった名前になりました。普段はのんびりとよく寝ていて、人に撫でられるのが大好きなねこです。

JA青年部

山下 真さん(36歳) 稲成支部

漬け梅のネット拾いの効率化を

小さい頃から農業を手伝っていたので自然と農業を志し、高校を卒業後すぐに就農しました。当時は梅とミカンの複合経営でしたが、現在はすべて梅に改植し、梅一本となっています。

今後は耕作面積の拡大をしながら、あわせて漬け梅のネット拾い収穫などが効率的にできるよう、園地環境の改善に取り組んでいきたいと考えています。

青年部は、たくさんの人と出会うことができるのが魅力です。部員との交流の中で多くの気づきや学びがあり、自身の成長にもつながっています。

休日はゲームをしたり漫画を読んだりして気分転換をしています。



元気です!



串本町串本 後藤 美千代さん(79歳)

元気の秘訣は好きなことをすること

高校を卒業してから67歳まで看護師として病院に勤め、退職後に以前から好きだった洋裁を習おうと手芸教室に参加したことから、本格的にかばん作りにはまりました。

かばんは一つひとつ手作りなので、同じものは二つとありません。生地を選んで自分なりに作るのがとても楽しいです。一つ作り上げるのに、ものにもよりますが、おおよそ1カ月かかります。これからも趣味のかばん作りを続けていきたいと思っています。

私の元気の秘訣は好きなことをすることです。かばん作り以外にもお花を育てたり、畑に行ったりするなど好きなことを楽しみながら忙しい毎日を送っています。